

なぜこのことについて
語れないのか？

不都合な臨床試験



ZeroSpike カンファレンス+映画上映 未来に、私たちはどんな希望を見出せるのか？

日本 - 2026年6月20日~21日

会場：星陵会館

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2

現代の本質的な問題に迫る2つの映画の日本初上映とあわせて、国際カンファレンスを開催します。ぜひご参加ください。

このたびおこなう唯一無二のカンファレンスでは、小児ワクチン接種、新型コロナ mRNAワクチン接種によって人体に壊滅的な影響を及ぼす「スパイクパシー」

と呼ばれているスパイク蛋白に起因する疾患に関する最新情報と研究の成果をお伝えします。

本イベントでは、2本の衝撃的な映画も上映されます。1本目の作品は、エミー賞を受賞した医療報道ジャーナリストで、「HighWire」番組のホストでもあるデル・ビッグツリー氏が制作した『An Inconvenient Study』です。彼は、小児ワクチンと自閉症との密接な関連性を、一般社会に広く認知させるきっかけを作った人物です。2本目は『Why Can't We Talk About This? (なぜこのことについて語れないのか?)』という作品で、新型コロナワクチンによる被害を受けた一人の男性が、ZeroSpike Projectの支援を受けながら回復への道を歩んでいく過程の記録映画です。

「不都合な臨床試験」の予告編は[こちら](#)でご覧ください。「なぜこのことについて語れないのか？」の予告編は[こちら](#)でご覧ください。これらの映画は日本語字幕付きで上映され、2日間の上映終了後には質疑応答セッションが行われます。

上映前には、池田としえ市議会議員、井上正康名誉教授、小島勢二名誉教授、佐野栄紀名誉教授、渡邊昌名誉教授、藤川賢治博士（小金井市議会議員）、山田正彦弁護士（元農水大臣）、森山晃嗣がんコントロール協会理事長、ダグラス・ウェインW-BAD創始者、福田克彦医学博士らが登壇し、海外からはデル・ビッグツリー（米国）、ティナ・ピアーズ博士（英国）、ファビオ・ゾッフィ博士（イタリア、ゼロスパイクプロジェクト創設者）、ジャレッド・ロスコ博士（米国）が登壇予定です。科学、医学、健康、そして癒しに関する重要な国際的な対話の場に、ぜひご参加ください。

2026年5月30日までの、早期割引チケットを今すぐご予約ください。

（チケット購入は[こちら](#)をクリック）

現在、日本全国での上映ツアーも企画しています。

カンファレンスに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

conference@zerospike.org



池田としえ議員

小島勢二名誉教授

井上正康名誉教授

Del Bigtree

Fabio Zoffi

Dr. Tina Peers

Dr. Jared Roscoe

渡邊昌名誉教授

佐野栄紀名誉教授

福田克彦博士

ZEROSPIKE

Detoxifying Humanity

のご協力に深く感謝申し上げます